

2020年4月15日

各位

## 欧州スタートアップ企業 Virta 社との 電気自動車（EV）向け充電プラットフォーム構築に向けた協業検討を開始

当社（社長：大田 勝幸）は、EV充電プラットフォーム※<sup>1</sup>を提供するフィンランドのスタートアップ企業Liikennevirta Oy（以下、「Virta社」）へ出資し、協業検討を開始しましたので、お知らせいたします。

Virta社は世界最先端のEV充電プラットフォーム技術を有しており、すでに世界28カ国でEVユーザー及び充電ネットワーク事業者に技術・サービスを提供しております。当社は、全国約13,000か所のサービスステーションネットワークの強みを活かした新たなモビリティサービス事業の創出を目指しており、その一環としてEV関連サービスの検討を進めております。今後、同社が強みとするスマート充電※<sup>2</sup>技術の日本国内での活用について協議を進めてまいります。

当社グループは、「2040年JXTGグループ長期ビジョン」において、ありたい姿として「低炭素・循環型社会への貢献」を掲げており、今後もエネルギーサービスプラットフォーム事業の構築やモビリティサービス事業の創出に向け取り組みを進めてまいります。

- ※<sup>1</sup> EVへ遠隔制御でスマート充電（後述）する機能、EVユーザーの認証・決済機能等を統合したプラットフォーム
- ※<sup>2</sup> EV充電の順序や速度を最適に制御すること

### ＜ Virta社との主な協業検討分野 ＞

#### （1）スマート充電

Virta社のクラウドベースのEV充電プラットフォームにより、EV充電の順序や速度を最適に制御することで、今後EV台数が急速に普及した状況下でもスムーズに多くのEVの充電を行うことが可能です。

#### （2）EVと再生可能エネルギーの連携（Vehicle to X）

EVは、太陽光や風力などの再生可能エネルギーからの出力を電力需要とバランスさせるための蓄電池として活用できる可能性を秘めています。Virta社が既に欧州において進めている実証事業で培った技術やノウハウと、当社の電気事業におけるアセットや知見を組み合わせ新たなサービスを創出します。



## とどけ! 熱いエネルギー ENEOS

## < Virta 社の概要 >

社名	Liikennevirta Oy
事業内容	EV充電プラットフォームの提供
設立	2013年
本社	ヘルシンキ
事業展開エリア	フィンランド、ドイツ、デンマークなど28カ国
資本金	131.7万ユーロ
売上高	710万ユーロ（2019年）
代表者	ユッシ パロラ Jussi Palola
主な出資企業	Helen, E.ON

Virta社は、EV充電プラットフォーム技術の分野における世界最先端企業です。28カ国300以上の顧客（EV充電ネットワーク事業者等）に、50以上のブランドでサービスを提供しています。フィナンシャルタイムズ誌の2020年「FT 1000」において、欧州で最も成長が著しいEV充電プラットフォーム企業としてランキングされました。その他、2018 CHARGE AwardにおけるThe best energy brandや、Frost & Sullivan社による2018 European EV Charging Services Technology Innovation Awardなど、Virta社の技術は数々の賞を受賞しています。

以上

## JXTGは、社名もENEOSへ！

※ 2020年6月に開催予定の定時株主総会で定款変更が承認されることを条件に、同日日付で変更いたします。



# とどけ! 熱いエネルギー ENEOS